

令和6年度 第2回 世田谷区長定例記者会見

令和6年6月27日
世田谷区

伊藤 匠新叡王 世田谷区長訪問



耳で聴くハザードマップによる情報発信を開始しました！

■ 耳で聴くハザードマップとは？

音声コード読み取りアプリ「Uni-Voice Blind」に実装されている、防災コンテンツです。

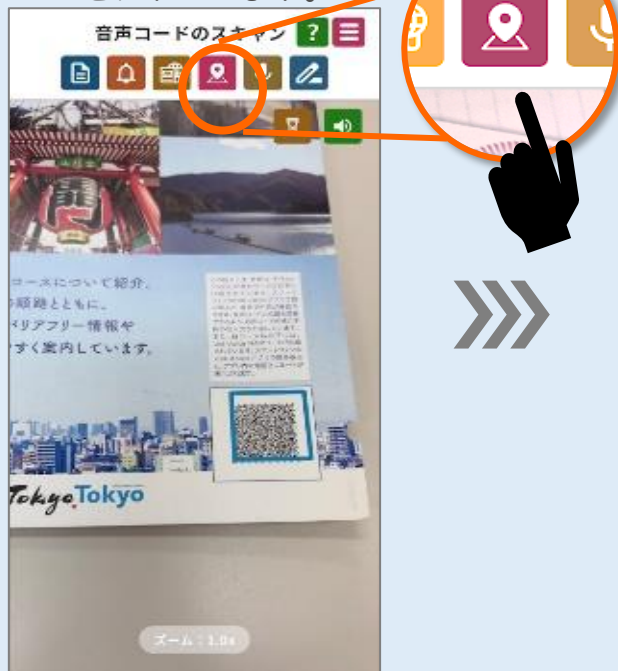
住所入力不要で現在地とその周辺の災害リスク情報を**すべて音声で読み上げます**。

操作手順

① Uni-Voice Blindアプリを起動します。



② 赤い現在地アイコンをタップします。



③ ハザードマップボタンをタップします。



④ ハザードマップ画面が表示されます。



「Uni-Voice Blind」アプリのダウンロードはこちら。







「世田谷区防災ポータル」との連動

災害時に区が発信する避難情報や避難所開設の情報もアプリ内から確認できます。



各ハザードマップ情報面の音声読み上げ

各ハザードマップに記載の情報収集方法や避難行動について、音声でお聞きいただけます。



視覚障害者向けスマホ相談会

- 4月から、視覚障害者を対象としたスマートフォン（ 아이폰 ）個別相談会を実施。
- 視覚障害当事者を講師に、利用方法などを個別形式で相談。 ※ 耳で聴くハザードマップも相談可

実施日・定員

毎月1回、1日あたり定員4名

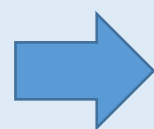
参加費

無料

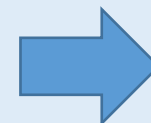
パラスポーツを通じた共生社会実現に向けた取組みについて ～世田谷deボッチャ～



東京2020大会を契機としたパラスポーツの普及



誰もが参加しやすい
「ボッチャ」の更なる推進



「世田谷deボッチャ」

【会場】 希望丘地域体育館

【日程】 毎週火曜日（第3週除く）

1. フリー練習、交流試合
2. 日本ボッチャ協会による講師派遣、選手との交流
3. 地域のボッチャ団体による初心者向けレクチャー



昨年度のボッチャ世田谷カップの様子

自治体間連携フォーラムを開催

開催日時：令和6年7月9日（火） 15：30～18：00

テーマ

地域特性を活かした 交流拠点による地域づくり

プログラム

第1部 | 自治体事例の紹介

- ◆ 北海道中川町 世田谷区下高井戸商店街、日本大学文理学部との共働
- ◆ 長野県豊丘村 地域課題解決に向けた地域商社設立及び観光事業構築の取り組み
- ◆ 群馬県川場村 新拠点（庁舎及び小中一貫校）整備による地域づくりと跡地利用について
- ◆ 世田谷区 教育総合センターを拠点とした地域連携

第2部 | 各自治体首長による意見交換



一般の方もご視聴いただけます！
申込〆切：6月30日（日）

世田谷区HPの
検索窓で検索！▶



209769

手づくりの渡し舟で多摩川を遊覧

平成26年に始まった宇奈根の渡しが、11年目を迎えました。当日は川崎市と世田谷区の子どもたちが、多摩川の遊覧や、ゲームなどの陸上コーナーを楽しみました。

宇奈根の渡し・・・地域の子どもたちや大人が多摩川を遊覧する渡し舟で交流する、川崎市と世田谷区との包括協定締結記念行事



陸上ブースの輪投げコーナーも大人気



小学校4年生から中学校1年生が船頭を務めます

こんなことやってみたい！！

世田谷区
子ども夢プロジェクト
令和6年度は児童館8館で実施

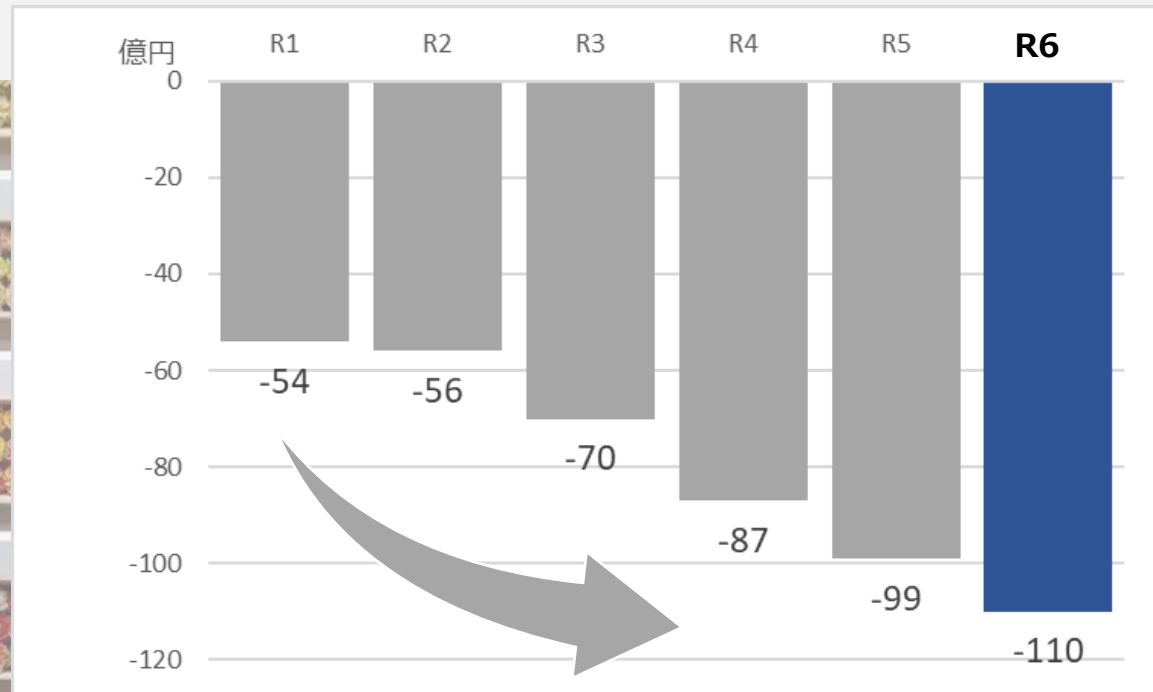


令和6年5月26日(日)
上用賀アートホール
リニューアルイベント当日の様子

世田谷区のふるさと納税

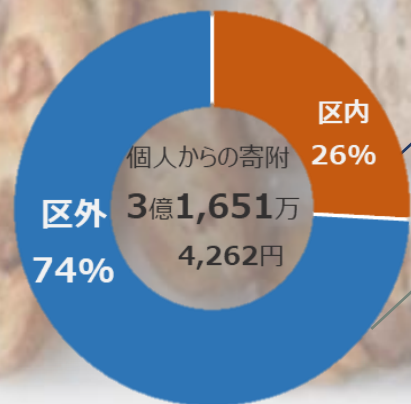
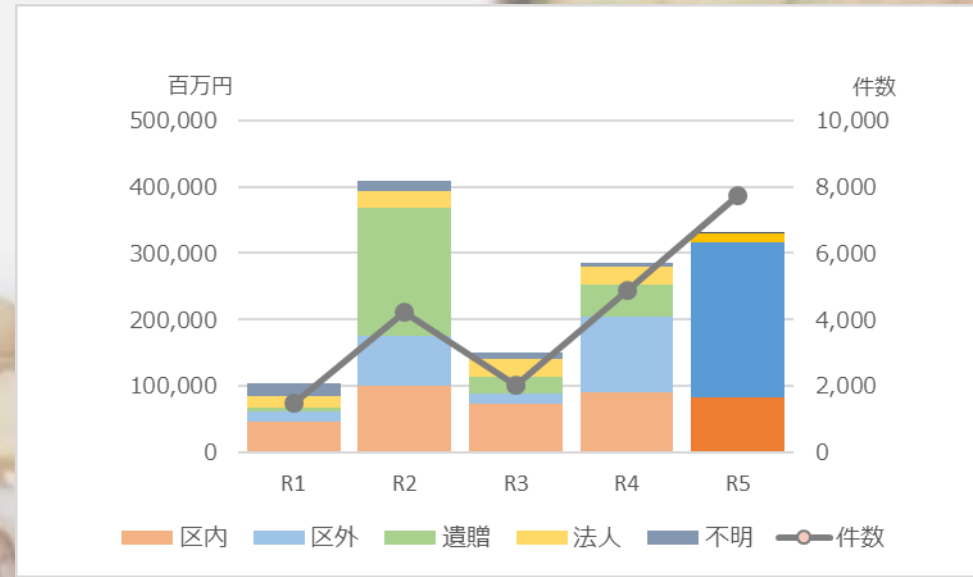
令和6年度 流出額 (速報値)

109億5,277万8千円



令和5年度 寄附実績

3億3,260万6,015円



区内 個人からの寄附
8,194万5,747円

区外 個人からの寄附
2億3,456万8,515円

ふるさと納税返礼品

等々力溪谷プロジェクト ～みんなで育む緑と水～



等々力溪谷プロジェクト 経緯

◆倒木被害の発生

令和5年7月シラカシの大木が倒れる被害が発生



◆危険木への対応

樹木調査後、約50本について剪定・伐採作業を開始



◆樹林地の課題

表土流出、斜面崩壊
根上がり、ナラ枯れ等の発生



◆生育環境の改善

支障木の剪定、表土の保護、根の安定化、苗木の植え付け等



等々力溪谷プロジェクト ふるさと納税

危険木の伐採や剪定作業、樹林地の生育環境や溪谷公園内の利用環境の改善等に活用する。

◆募集期間：令和6年6月27日～
令和7年12月31日

◆目標金額：2,000万円

◆本プロジェクトオリジナルの品

「インセクトハウス」の設置（先着250件）

- ・寄附額：5万円以上
- ・設置期間：令和7年4月頃～令和9年3月末
- ・等々力溪谷公園または国分寺崖線内に設置

◆返礼品（※区外寄附者のみ）

スイーツ、せたがやPayふるさとポイント等



等々力溪谷プロジェクト PR企画

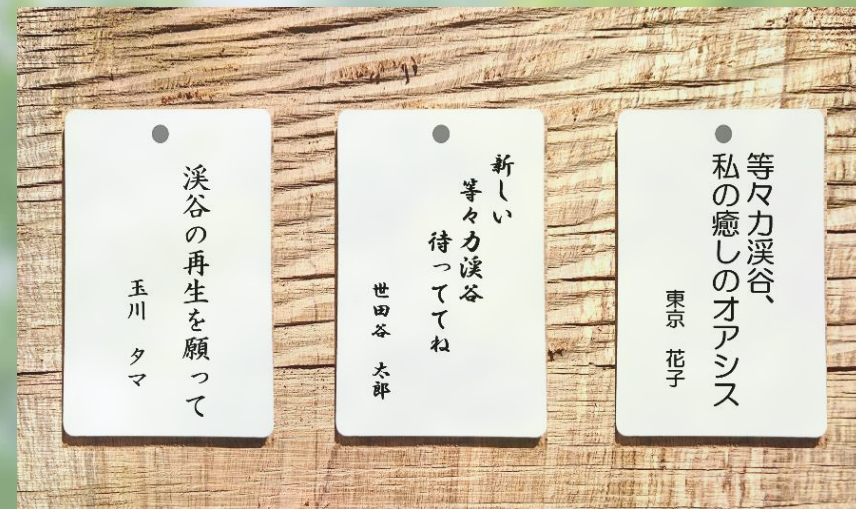
「等々力溪谷に想いをのせて」

区民等がメッセージを記入したプレートを伐採材を再利用した掲示板に貼付し、等々力溪谷日本庭園書院脇に展示。

◆設置期間：令和6年10月頃～
令和9年3月末（予定）

◆受付窓口：

- ・みどり33推進担当部公園緑地課施設管理担当
玉川公園管理事務所
- ・玉川総合支所 地域振興課 等々力まちづくりセンター
- ・政策経営部 ふるさと納税対策担当課
- ・等々力溪谷公園内日本庭園書院



子どものアイデア・子ども主体の活動を応援！



子どもたちが
やってみたい企画を
提案



公開審査会で
子どもたち中心に
企画を審査



活動費用を
「子ども基金」で応援

1 子ども団体の募集について

対象団体 次の3つの条件を満たすこと

- 1 世田谷区に在住・在学・在勤している小学校1年生以上18歳以下の子どもが5人以上
- 2 メンバーが複数世帯で構成
- 3 18歳以上の大人が2名参加（高校生は除く）

対象活動

子どものアイデアで、子どもが主体となった活動

仲間や地域の人たちと一緒に取組み、かつ地域（区内）で実施する活動

補助金額

1団体20万円まで

公開審査会

日時：7月28日（日）13：30～16：30（予定）

会場：うめとぴあ 研修室C（世田谷区松原6-37-10）

申請団体が3分でプレゼンテーション（方法自由）

自分たちのやりたい活動を公開で審査員（子ども・若者・大人）にアピール

補助する団体を決定

2 子ども審査員の募集について

子ども審査員とは

- 子どもたちが主体となった活動に、お金を出して応援するかどうかを同世代の目線で審査する

→「子ども基金」寄附者の意向を踏まえて

- 募集人数 6名(多数の場合は抽選)
- 応募条件(下記1・2を満たす方)
 1. 世田谷区に在住・在学・在勤している方
 2. 小学5年生から18歳以下の方
- 報酬 一回2,000円

スケジュール

- 6月28日(金) 17時 子ども審査員の応募締め切り
- 7月12日(金) 17時 子ども団体の応募締め切り
- 7月28日(日) 公開審査会
- 8月中旬以降 活動開始 ~ 令和7年1月
- 令和7年5月頃 活動発表会

災害時医療における地域広帯域移動無線アクセス（地域BWA）導入

一般通信回線とは異なる地域BWA専用周波数帯の電波を活用した
通信サービスを導入

発災時のより安定的な情報連絡やインターネット接続を可能に！

【現状】

○MCA無線

○インターネット一般回線

【地域BWA導入後】

○MCA無線

○インターネット一般回線

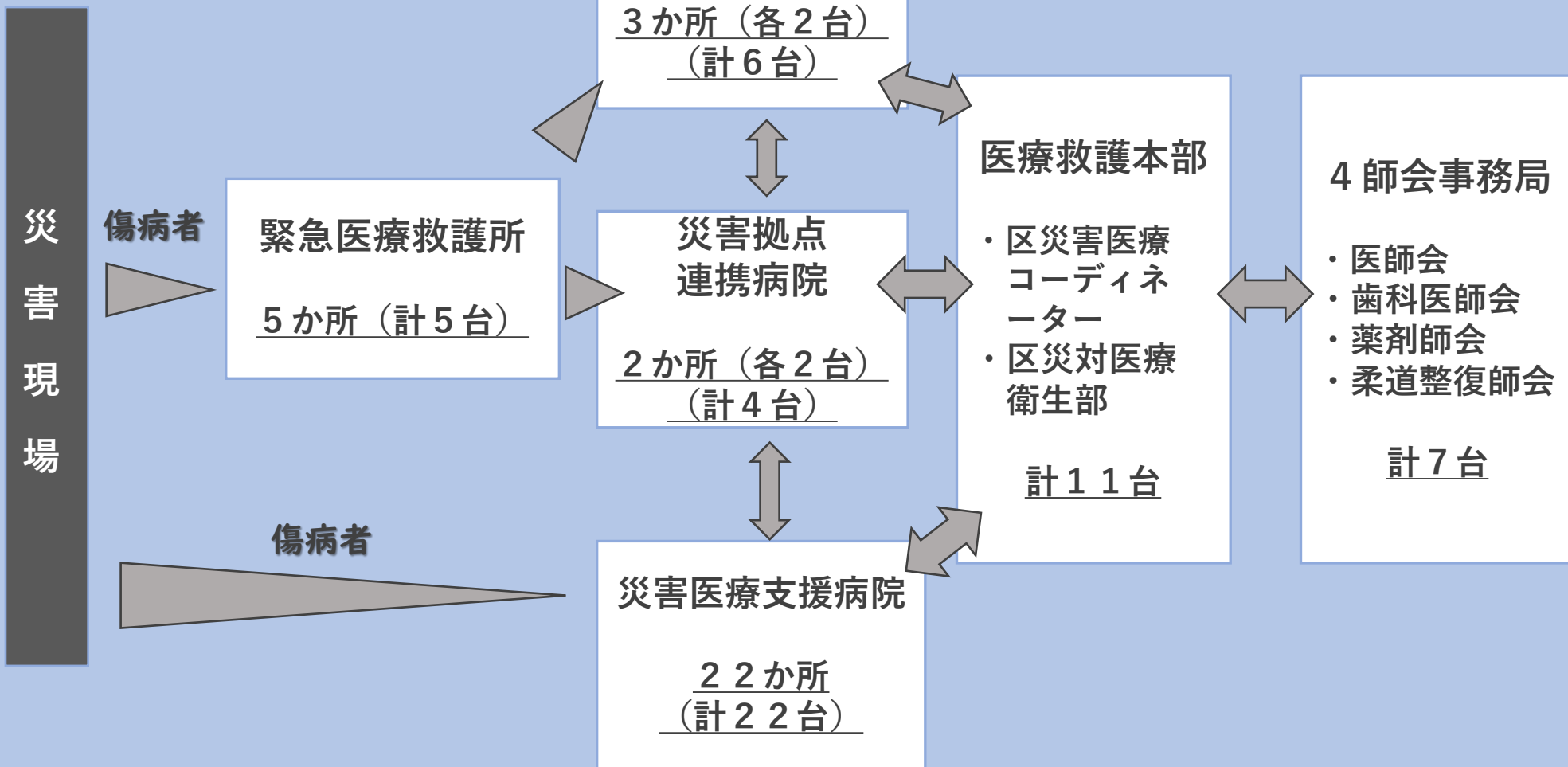
○インターネット地域BWA回線

発災時の区と医療関係団体との情報通信手段強化

地域BWA

モバイルルータ
スマートフォン
配置イメージ

合計55台配置



地域BWA 活用想定

災害時

- 医療機関の稼動状況や被害状況の共有、患者搬送の調整や支援要請等に活用
- スマホの配置で医療機関と医療救護本部間により安定的な情報連絡を可能に

平常時

- 通信・連絡調整訓練
- 緊急医療救護所運営訓練

